



2018 Continuing Dental Education

Meikai University & Asahi University
School of Dentistry

マルチディシプリナリーアプローチⅤ(補綴：クラウンブリッジ)

クラウンブリッジは補綴治療の基本です。クラウンブリッジの質を高めることは、臨床の質を高めることに直結します。クラウンブリッジは、毎日のように繰り返し行われている頻度の高い治療であるからこそ、基本を整理して、理論的にかつ合理的に治療ができるようにしておかなくてはなりません。

本コースでは、形成、印象、テンポラリークラウンの作製、プロビジョナルレストレーションの作製、Wax up、咬合器へのマウント、装着までの一連のクラウンブリッジワークを、理論的な背景をまとめながら Hands On を交えて解説します。

4日間のコースを通してクラウンブリッジの基礎を確実に修得し、臨床のスキルアップを図ることを目標とします。それにより、審美補綴、フルマウスリハビリテーションなど、ワンランク上の補綴治療が楽に導入できるようになります。

■講師紹介



渡辺隆史

Takashi Watanabe

小滝歯科医院 院長

明海大学歯学部臨床教授

日本顎咬合学会 前理事長 指導医

日本歯内療法学会 専門医

日本口腔診断学会 認定医

アメリカ審美歯科学会 会員

アメリカ歯周病学会 会員

UCLA-Kawazu STUDY CLUB 会長

いづな総合歯顎研究会 (ITDC) 主宰

■コースの開催日

コースNo.	コース名	期日	時間	会場
09180701	咬合論の理解(補綴Ⅰ)	2018年 9月8日(土)	10:00～18:00	千葉・浦安市
09180702	プレパレーションデザインとその考え方(補綴Ⅱ)	2018年 9月9日(日)	10:00～18:00	千葉・浦安市
09180703	テンポラリークラウンとプロビジョナルレストレーション(補綴Ⅲ)	2018年11月3日(土)	10:00～18:00	千葉・浦安市
09180704	クラウンブリッジの印象から装着まで(補綴Ⅳ)	2018年11月4日(日)	10:00～18:00	千葉・浦安市

コース No. 09180701

マルチディシプリナリーアプローチⅤ①(補綴：クラウンブリッジ)

咬合論の理解(補綴Ⅰ)

Understanding of occlusion theory

■講 師：渡辺隆史 Takashi Watanabe

■概 要：理論的にかつ合理的なクラウンブリッジ治療を行うには、咬合論の基本を理解しておくことが必要です。第1回のセミナーは、頭で考えるだけではなく実習を通して、咬合に対する知識を深めていただくことを目的に行います。実習では、ドロップオンワクシングと咬合調整を行います。機能的なワックスアップテクニックの一つである、ペインのテクニックを体現したのちに咬合調整の手順を学ぶことで、難解に思われる咬合への理解が深まるばかりか、形成、プロビジョナルクラウン作製やクラウンの咬合調整を理論的にかつ効率良く行うことができるようになります。

本コースでクラウンブリッジ作製に最低限必要な、咬合論の基本を身につけたうえで、その後の補綴Ⅱ(形成)、補綴Ⅲ(テンポラリークラウンとプロビジョナル)、補綴Ⅳ(印象と装着)と順次受講していただくことによって、誰もが質の高い高精度なクラウンブリッジ治療を確実にできるようになることを目指します。

■定 員：15 名

■日 時：2018 年 9 月 8 日(土) 10:00～18:00

■会 場：千葉・浦安市 明海大学 PDI 浦安歯科診療所

■受講料：50,000 円(実習材料費、教材費含む)

◆入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。

■プログラム

講 義(Lecture)	実 習(Hands on)
1) 下顎の基準位 咬頭嵌合位と中心位 2) 下顎運動 機能運動と非機能運動(習慣運動と限界運動) 咬合様式と理想咬合 開閉運動と咬合器 前方運動と咬合器 側方運動と咬合器 3) 咬合面形態の意味と理解 第一大臼歯の咬合面形態の理解 機能的な咬合面形態とは 咬合接触点の意味と与え方 4) 咬合調整の手順	1) ドロップオンワクシングテクニック (Payne の functional Waxing) 2) 咬合調整



コース No. 09180702

マルチディシプリナリーアプローチⅤ②(補綴:クラウンブリッジ)

プレパレーション デザイン とその考え方(補綴Ⅱ)

Preparation design for crown and bridge

■講 師: 渡辺隆史 Takashi Watanabe

■概 要: 第1回で学んだ咬合の知識をもとに形成実習を行います。適合のよい補綴物を作るには、各ステップでの誤差を最小にしないことはなりません。その第一歩が形成です。綺麗に形成できるようになることはとても大切ですが、その形成は理論的かつ効率が悪くなくてはなりません。最短時間で綺麗な形成をするにはどうしたらよいのか? 形成限界はどこに求めればよいのか? 形成量はどのようにして決めるのか? どうしたらバーの軸がブレないように形成できるか? 圧排はどのようなときに必要か? 器材は何を選んだらよいのか? 楽で安全な形成ポジションは? などなど、フルクラウンの形成実習を通して、形成の様々な疑問にお答えします。フルクラウンの形成は全ての形成の基本です。フルクラウンの形成を確実にマスターすることで、ブリッジや4/5冠やオンレー、7/8冠や3/4冠など、あらゆる種類の形成を楽にこなすことができるようになります。また、フルクラウンの形成に加えて接着性ブリッジの形成実習を行います。支台歯に大きなう蝕がない時、誰もがブリッジ形成をためらうはずで、接着性ブリッジは、削除量を最小限にできるため、低浸襲で支台歯に優しい方法です。

■定 員: 15 名

■日 時: 2018年9月9日(日) 10:00~18:00

■会 場: 千葉・浦安市 明海大学PD | 浦安歯科診療所

■受講料: 50,000 円(実習材料費、教材費含む)

◆入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。

■プログラム

講 義(Lecture)	実 習(Hands on)
1) 形成に必要な基礎知識 2) 歯周組織に調和した形成デザインとは 3) マージンの形態とバーの選択 4) 目的に合わせたマージンの設定位置 5) 歯肉圧排の必要性和方法 6) プレパレーション デザインに影響を与える要因と対処法 7) フルクラウン(FMC, CAD/CAM 冠) 形成の勘所と注意点 8) 接着性ブリッジ形成の勘所と注意点 9) 形成ポジション 10) 4/5冠形成の勘所と注意点 11) 7/8冠形成の勘所と注意点 12) 3/4冠形成の勘所と注意点 *10)、11)、12) は時間が許す限り動画で提示	1) 6 FMC プレパレーション 2) 6 FMC プレパレーション 3) 4 CAD/CAM Cr プレパレーション 4) 5 6 7 接着性ブリッジプレパレーション



コース No. 09180703

マルチディシプリナリーアプローチV③（補綴：クラウンブリッジ）

テンポラリークラウンとプロビジョナルレストレーション（補綴Ⅲ）

Temporary restoration & Provisional restoration

■講 師：渡辺隆史 Takashi Watanabe

■概 要：第3回はテンポラリークラウンとプロビジョナルレストレーションの作り方を実習します。テンポラリーはできるだけ簡単に早く作らなくてはなりません。一方、プロビジョナルには機能的な形態や、最終補綴物に匹敵した適合精度や咬合精度が求められます。それをチェアーサイドで確実に行うにはどうしたらよいのか？ その勘所を細かく解説します。

■定 員：15 名

■日 時：2018年11月3日（土）10:00～18:00

■会 場：千葉・浦安市 明海大学PDI浦安歯科診療所

■受講料：50,000 円（実習材料費、教材費含む）

◆入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。

■プログラム



講 義(Lecture)	実 習(Hands on)
1) テンポラリーとプロビジョナルの違い 2) プロビジョナル作製に必要な咬合理論の復習と歯牙の形態 3) 歯周組織に調和したプロビジョナルの形態 4) マージンを適合させる方法 5) 機能的な咬合面形態と咬合接触点の作り方 6) 直接法と間接法 各種テンポラリーの作り方	1) 直接法によるフルクラウンテンポラリーレストレーション 2) 間接法によるブリッジプロビジョナルレストレーション 3) 直接法による審美的な前歯テンポラリーレストレーション



コース No. 09180704

マルチディシプリナリーアプローチV④（補綴：クラウンブリッジ）

クラウンブリッジの印象から装着まで（補綴Ⅳ）

Impression and cementation for crown & bridge

■講 師：渡辺隆史 Takashi Watanabe

■概 要：最終回は印象と装着について解説します。精度の高い補綴物を作製するには、精密印象を行い、技工操作の誤差を最小限にしないことはなりません。精密ラバー印象が確実に採得できるようになるため実習をおこないます。また、日常頻繁に行っているアルギン寒天印象も、扱い方を守れば高精度で簡便な印象方法になります。その勘所を解説します。しかし、せっかく綺麗で高精度な印象が採得できても、作業用模型に誤差が生じては元の木阿弥です。誤差を最小限に押さえる技工操作やフェイスボウトランスファーについても解説します。

そしていよいよ最終段階の装着です。装着時咬合調整はどのように行うのか？ 装着材料は何を選べばよいのか？ 実習を通して解説します。

■定 員：15 名

■日 時：2018年11月4日（日）10:00～18:00

■会 場：千葉・浦安市 明海大学PDI浦安歯科診療所

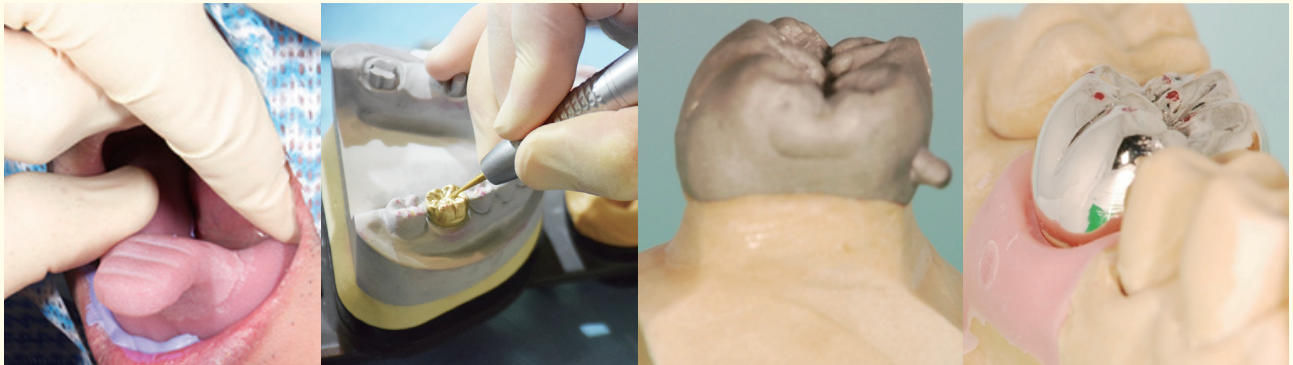
■受講料：50,000 円（実習材料費、教材費含む）

◆入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。



■プログラム

講 義(Lecture)	実 習(Hands on)
1) アルギン寒天連合印象の勘所 2) 精密ラバー印象の勘所 3) 二重圧排法 4) フェイスボウトランスファーの意味と重要性 5) 作業用石膏模型の作り方 6) コンタクトポイントの調整法 7) 咬合調整の理論と実際 8) フルクラウンの装着方法	1) アルギン酸印象(既製トレー) 2) 精密ラバー印象(既製トレー) 3) 精密ラバー印象(各個トレー) 4) フェイスボウトランスファー 5) クラウン装着と咬合調整



パッケージ料金 マルチディシプリナリーアプローチⅤ全コース受講で 190,000 円

マルチディシプリナリーアプローチⅤ①～④コース受講者パッケージ料金について

■マルチディシプリナリーアプローチⅤ(補綴:クラウンブリッジ)の4コース全てを受講希望される先生方、4コース合計200,000円のところパッケージ料金190,000円で受講することができます。なお、一度納入された受講料の返金はいたしかねますので、予めご了承下さい。

◆パッケージコースについては、分割払い制度を利用して、受講することができます。

(注意) 1. ドレスコードのお願い、服装は必ずしもフォーマルである必要はありませんが、襟なしシャツや短パンなど、周囲の雰囲気を損なわない服装やエチケットにご協力をお願い申し上げます。
2. 個人情報保護法に基づき、肖像権について使用承諾を頂いている先生について掲載しております。

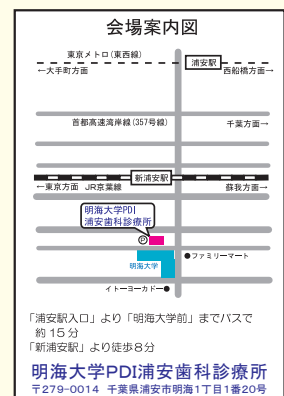
■照会先 明海大学歯学部生涯研修部

〒350-0283 埼玉県坂戸市けやき台1番1号

TEL: 049-279-2728

FAX: 049-285-6036

E-mail: info@m-a-univ-ce.com



■受講申込書

(注意) 1. E-mail アドレスは、必ずご記入ください。2. 入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。

受講申込 コースNo.		氏 名 (漢字)		氏 名 ローマ字 (大文字)	
ご案内郵送先 ☐ 自宅 ☐ 歯科医院 ※どちらかにチェックして下さい		医院名		出身校	卒業年度 年度
住所 〒 -		TEL		携帯	
		FAX		E-mail	

■振込先: みずほ銀行 川越支店(普通) 1936843 学校法人明海大学理事長 宮田 淳

2018.02.09